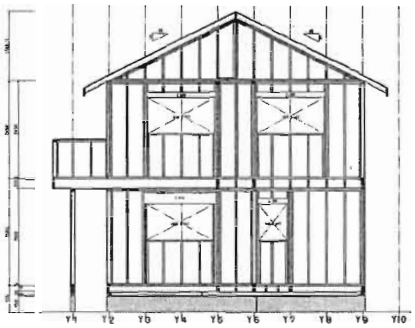
伏図データから軸組断面図出力

ネットイーグル

2×4CADに新機能

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は、2×4CADの新機能として、伏図データから自動的に軸組断面図を出力できる機能を追加した。伏図と断面図の双方で設計内容を確認でき、どちらの図面に修正を加えてもそれぞれの図面に反映される。一連の法改正で構造図面の審査と図面間の整合性が求められていることに対応。新機能で一段の拡販を目指す。



断面図の帳票

伏図の壁部分をクリックすると、クリックした壁の通りごとに断面図が表示される。3次元でデータが連動するため、どこの通りでも切り取ることが可能で、どこで修正を加えても図面の不整合は発生しない。作成した伏図はそのまま加工データとなり、CAD／CAMで図面どおりに加工できる。

昨年施行された改正建築基準法では、確認申請時の図面間の整合性が審査対象となり、今後義務付けられる瑕疵担保保険や、今後実施される4号特例の見直しでは構造図面の審査や現場検査が必要になる。木造軸組と異なり2×4は伏図も設計事務所が手がけるケースが多いが、それだけにCAD／CAM対応の工場は少なく、図面と一致した現場施工をどう担保するかが課題になっている。

同社のCADは、生産目的に開発されたCAD／CAMシステムのため、構造設計だけでなく、設計どおりの加工ができるのが特徴。加工データから木拾いするため積算も正確で、大手賃貸住宅会社が本格導入したことで提携工場を中心に導入の動きが広がっている。

祖父江社長は「コンポーネント工場は伏図をもらってパネル図面を作成しているが、伏図の作成から引き受ければ品質を担保できるだけでなく、新たなビジネスにつながる。2×4は開口部の寸法まで規格化されており、軸組に比べ設計がしやすい。設計から加工、建て方まで一括して手がければ、今後の業界ニーズに対応した責任施工体制を構築できる」と話す。

新社長に竹中宣雄氏

ミサワホーム　新中期経営計画を推進

竹中　社長

ミサワホーム（東京都）は水谷和生社長が会長に就任し、竹中宣雄取締役専務執行役員が社長に昇格する人事を発表した。経営再建に区切りを付け、新体制のもとで、新たに策定した中期経営計画を推進するのが狙い。

6月末に開かれる定時株主総会と、その後の取締役会で正式決定する。19日、取締役会終了後の会見で水谷社長が明らかにした。

銀行出身の水谷社長は「14年に副社長に就任して以来、経営再建を進めてきた。07年度は売上高4050億円、営業利益75億円、経常利益60億円の計画を達成。業績が軌道に乗り始めたことから、新中期経営計画の策定に合わせて交代する時期と

ウッドワン取締役名誉会長故中本利夫氏の社葬（住建グループ合同葬）が20日、はつかいち文化ホール（広島県廿日市市）でしめやかに営まれた。当日は国内外から約1700人が参列した。

葬儀委員長の矢野龍氏（住友林業社長）は、これまでの中本氏の経歴、功績等を称え、「力強い業界のリーダーを失い、衝撃とともに悲しみに耐えない。故中本氏の道のりは木質建材の発展そのもの。企業家だけでなく、地域への貢献、その功績は国内外

死して森を残す」

国内外から1700人参列　故中本利夫氏葬儀

名誉会長）、山下三郎（前廿日市市長）、栗城孝司（ウッドワン専務）各氏が業界、友人、会社を代表して中本氏を偲び、弔辞を述べた。

最後に喪主の中本祐昌氏（ウッドワン社長）は、父・中本氏との思い出を語り、「情け深く、涙もろく、人が良すぎるが、持ち前の負けず嫌いで一代で財を成した。大酒飲みで、意固地、人の話を聞かない。ビジネスでは成功したが、病はもう少し、話を聞いてくれていればと悔いが残る。企業家と言うより、私にとっては最後まで林業家、山の人でした。山を愛し、本当に好きでした。〝死して森を残す〟。私たちはその森を生かし、守ることを使命と思っている」と謝辞を述べた。

3月生産は24

日本機械鋸・刃物工業会がまとめた、平成20年3月の機械鋸・刃物生産額は24億2100万円で前年比95・0%となった。

機械鋸・刃物生産額

：100万円、（　）内前年比%

3　月	1～3月
1,461（ 90.1）	4,127（ 96.2）
915（103.7）	2,518（102.9）
45（104.1）	120（ 93.0）
2,421（ 95.0）	6,765（ 98.6）

本機械鋸・刃物工業会

種物減少鋸と

世界の